



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



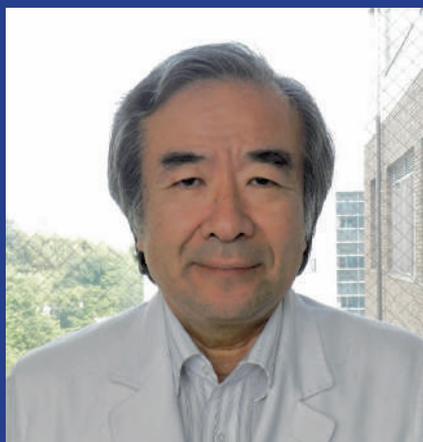
Vol.24
2020年10月号

News
Letter

おおきに健康

歯とお口から

大阪大学歯学部附属病院 広報誌 <https://hospital.dent.osaka-u.ac.jp/>



副病院長 古郷 幹彦

長引くコロナ危機のなかで、最も安全な医療体制を目指す病院として大阪大学歯学部附属病院は前進してまいります。当病院は西日本唯一の歯学に特化した国立大学病院として、最先端の医療を提供すべく日々努力しております。歯科外来における口腔外バキューム、PPEといわれるガウンなどの防護着着用、入院におけるPCR検査など、最善の努力を行った結果、本院では安全な口腔医療が確保できております。患者様にも大変ご協力いただいたこと誠に感謝申し上げます。本院は言うまでもなく大都会大阪に立地しております。大阪の街の現在の苦難を共有しなければいけないことは当然のことと考えておりますが、そのなかで大阪の歯科の医療体制を支えることが林病院長以下我々の使命と考えております。本院は診療・研究・教育の我が国の核となる病院でもあります。それが大阪大学のスタンスです。コロナの現状に萎縮せず、患者様の望まれる方向を考えながら未来の医療体制を構築してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

内面

- 特集 1.
新型コロナウイルス感染症対策
- 特集 2.
大阪大学歯学部附属病院での
新型コロナウイルス感染症対策
- 診療支援物品のご寄付のお礼
- 病院からのお知らせ

お口の相談コーナー
お口のマメ知識

裏面

- 2020年5~9月の統計情報
- 病院概要



特集1 新型コロナウイルス感染症対策

副病院長 丹羽 均

9月に入りようやく新型コロナウイルス感染拡大の終息の兆しが見え始めました。患者様には感染予防対策として、病院玄関での問診や体温測定、待合でのソーシャルディスタンスの確保、処置前の消毒薬による洗口等、いろいろご協力いただきありがとうございます。また、診療中のエアロゾル対策のため、歯科医師がゴーグル、フェイスシールド、ガウン等、物々しい感染防護具を装着し、また掃除機のような口腔外バキュームを大きな音で作動させながら診療を行っており、何かと不快な思いをされていると存じます。ご容赦ください。

この新型コロナウイルスの厄介な点は、まだ歯科診療における確実な感染予防策が分かっていないことです。だからと言って、何も対策を取らないというわけにはいきません。本院では、確実なエビデンスがないにしても、感染対策として少しでも役に立ちそうなことは、何でも取り入れるというスタンスで診療を行っています。もっと新型コロナウイルスのことが明らかとなった場合には、現在、実践している感染対策の効果が疑問視されるかもしれませんが、それも仕方ないものと理解しております。また、病院関係者は自己の健康管理に最大限の注意を払い、できる限り院内に新型コロナウイルスを持ち込むことのないよう最善を尽くしております。患者様にも、ご理解、ご協力をお願いします。



特集2 大阪大学歯学部附属病院での新型コロナウイルス感染症対策



病院玄関で
外来患者様に
検温と問診票への
記入をお願い



屋外駐車場にて
全身麻酔の
手術前に
PCR検査を実施



一般歯科診療では、
術者は防護ガウン、
マスク、手袋、
キャップ、フェイス
シールドを装着

各チェアには
口腔外バキュームを
装備

診療支援物品のご寄付のお礼

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、診療支援物品が全国的に不足する中、本院で診療を継続するために必要な診療支援物品を関係の皆様よりご寄付いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

病院からのお知らせ

- 11月21日(土)に開催を予定していた第18回市民フォーラムは、新型コロナウイルス感染拡大を受け、来年度への延期が決定しました。
- 8月末より歯学研究科の一部建物で改修工事が始まりました。病院部分には直接の影響はございませんが、周囲を工事車両が通行しますのでご注意ください。皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

お口の相談
コーナー



「頭痛、肩こり、あごや歯の痛みがなかなか治らない…」 TCHのせいかもしれません

歯科麻酔科 助教 横江千寿子

TCHとは、"Tooth Contacting Habit" (歯列接触癖) の略で、上下の歯を"持続的に"接触させる癖のことです。日中に食事や会話などをしていないときでも、ずっと弱い力で上下の歯を接触させている状態を指します。

何もしていないときは、くちびるを上下閉じていても上下の歯は接触せず、わずかなすき間があるのが自然な状態です。実は、1日24時間のうち、上下の歯が接触する時間を合計しても、平均20分程度とほんのわずかな時間なのです。ところが、TCHがある方は常に上下の歯を接触させてしまっています。頭から顔、首から鎖骨へかけて存在している咬むための筋肉が、緊張しっぱなしになってしまいます。この

ような状態が長い時間続くと、筋肉はとても疲労し、歯や顎関節にも負担がかかり、頭痛・肩こり・あごや歯の痛みにつながる可能性があります。

例えば、細かい作業をするときや、料理、パソコン作業、車の運転中などで、上下の歯を咬みあわせてしまう癖がTCHです。少し意識してみてください。無意識に咬みあわせていませんか？

- ① 姿勢を正しくして正面を向き、目をとじる。
- ② くちびるを軽く閉じる。
- ③ 上下の歯が接触しないように軽く離す。

これに違和感があるようであればTCHの可能性あります。

TCHが疑われる場合には、歯を離すことを意識することからはじめてみましょう。日常生活で視界に入りやすいパソコン画面やテレビのリモコン、洗面台、トイレなどに「上下の歯を離してリラックス」などと書いたメモ紙を貼るなどして、意識しやすい環境をつくりましょう。



お口の
マメ知識



「非歯原性歯痛って聞いたことはありますか？」

口腔補綴科 石垣尚一

ほとんどの患者さんは、歯や歯ぐき
が痛むとき、歯や歯ぐきの病気を疑っ
てしまうと思います。歯や歯ぐき
が痛む原因のうち、最も多いのは歯
や歯ぐきの病気ですが、実は歯や歯
ぐきにはまったく問題がないのに、
歯や歯ぐきに痛みを感じることがあ
り、非歯原性歯痛という名前と呼ば
れています。

非歯原性歯痛は、大きく8つに分類
されています。なかでも最も多く認
められるのは、「筋・筋膜痛による歯
痛」です。下あごを動かしている筋
肉の痛み(筋・筋膜痛)は、痛みの
原因が筋肉にあるのに、脳では別の
場所が痛むと感じてしまうのです。

次に、「神経障害性疼痛による歯痛」

があります。これには発作性の痛み
を伴う三叉神経痛という病気や、持
続性の痛みを伴う帯状疱疹や外傷
性神経障害性疼痛という病気が関
係しています。外傷性神経障害性疼
痛は、歯を抜いた後や、歯の神経
を取った後に生じることもありますが
、歯そのものには痛みの原因がない
ため注意が必要です。

片頭痛などの神経血管性頭痛や、
三叉神経・自律神経性頭痛と呼ば
れる頭痛では、三叉神経の領域で
ある顔面やお口の中の痛みとして
感じることが少なくありません。

上あごの奥歯の上に位置している
上顎洞の疾患も、上あごの奥歯の
痛みの原因になることが知られてい

ます。また、狭心症や心筋梗塞などの
心臓疾患の発作に先立ち、下あご
や奥歯に痛みを感じることもあります。

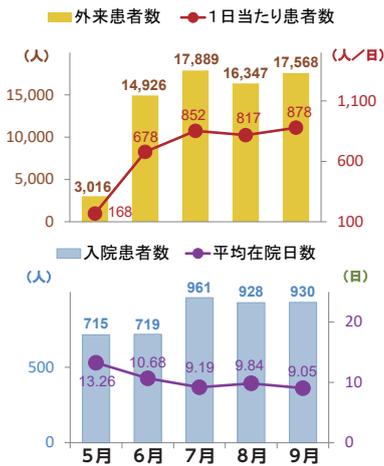
このほかにも、精神的、心理社会的
な原因で生じる歯痛や、腫瘍などの
脳の占拠性病変によって歯痛を感
じることもあります。

歯や歯ぐきを調べても痛みの原因
がわからないときには、非歯原性
歯痛かもしれません。

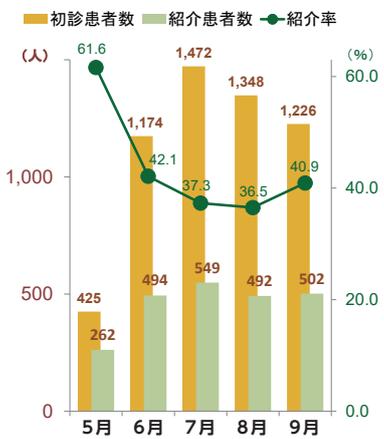


5月～9月患者数等統計

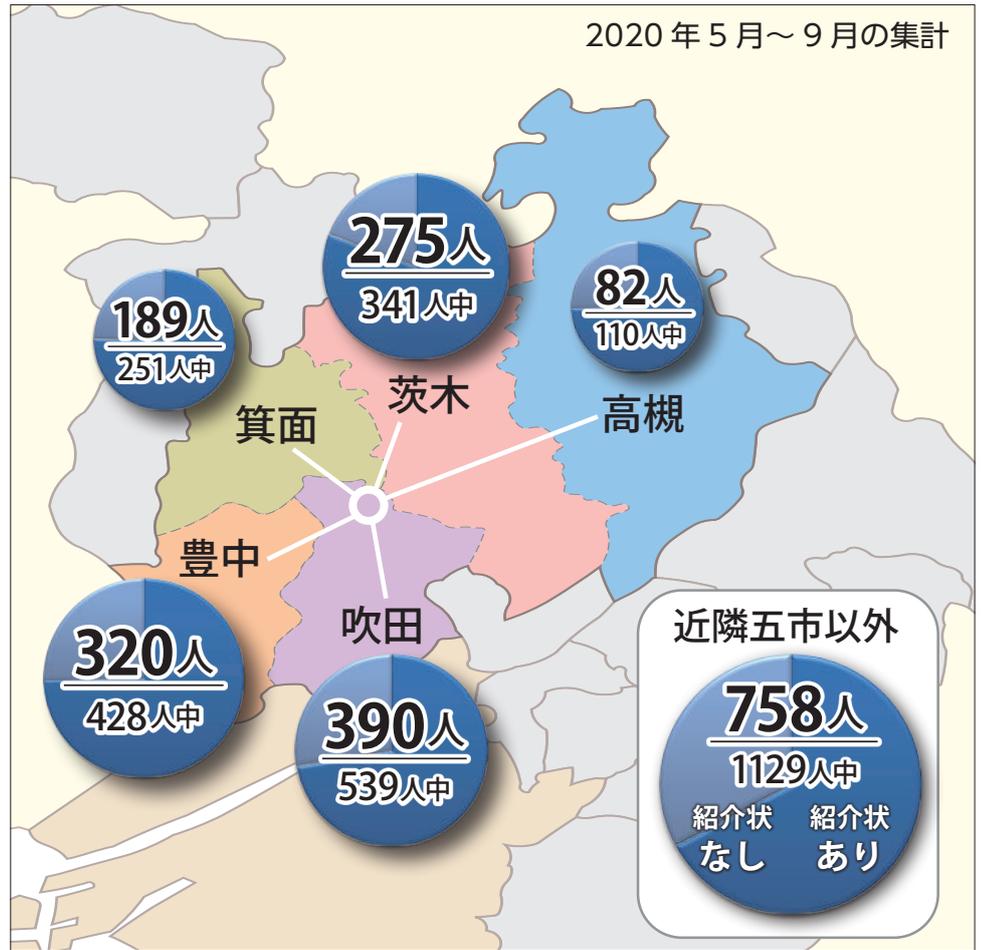
外来患者数・入院患者数



初診患者数と紹介患者数比率



近隣五市の新来患者に占める紹介状持参患者数



病院概要

診療日：月～金 休診日：土日祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

受付時間：【初診受付】8時30分～11時30分（初めて受診の方、紹介無し可）
【再診受付】8時30分～15時00分（原則として全科予約制）

住所：〒565-0871 吹田市山田丘1番8号

電話番号：（代表）06-6879-5111（時間外）06-6879-2848

標榜診療科：歯科、矯正歯科、歯科口腔外科、小児歯科

診療内容

口腔衛生指導、虫歯治療、歯周病治療、歯周再生治療、差し歯、入れ歯、インプラント治療、口腔癌治療、口唇口蓋裂治療、障害者歯科治療、摂食・嚥下、スピーチ治療、スポーツ歯科、口臭外来、ドライマウス外来、睡眠時無呼吸、歯の外傷治療等

電話による病気や症状に対する相談には再診料がかかります。ご了承ください。

夜間休日の緊急診療につきましては、あらかじめお電話(06-6879-2848)のうえ、お越しください。

入院患者さんへのご面会時間は、12時から19時となっております。

病院へのアクセス

https://hospital.dent.osaka-u.ac.jp/hospital/hospital_000009.html

歯学部附属病院にお車で越しの際は、西門（歯学部門）よりお越しください。なお、平日夜10時以降、土、日および祝日は、千里門よりお越しください。

**看護師・歯科衛生士
募集中！**

—お問合せ—

歯学研究科総務課人事係
06-6879-2834 まで